



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月12日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所名  
 コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 健雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 鈴木 祥司 TEL (052) 683-3110  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	10,252	△5.1	△21	—	33	△38.8	△23	—
22年3月期第1四半期	10,802	△7.9	2	4.1	54	△12.7	38	△11.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△1.25	—
22年3月期第1四半期	2.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	14,976	12,272	81.9	659.72
22年3月期	14,791	12,404	83.9	666.79

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 12,272百万円 22年3月期 12,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	1.4	50	△19.9	130	△4.6	80	12.4	4.30
通期	44,500	1.6	80	23.1	230	12.5	130	39.3	6.99

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期 1 Q	21,269,000株	22年3月期	21,269,000株
------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期 1 Q	2,666,139株	22年3月期	2,665,164株
------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期 1 Q	18,603,686株	22年3月期 1 Q	18,607,585株
------------	-------------	------------	-------------

(四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

(業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 2ページ「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策や新興国向け輸出の増加等により一部に景気回復の兆しが見られたものの、政策効果の先細りや欧州を中心とした景気下振れ懸念などから、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、雇用、所得情勢が依然として低水準にあり、生活防衛意識の高まりにより個人消費は低迷し、市場内外での販売競争が一層激しさを増すなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

この結果、売上高は、取扱数量の減少により卸売部門が大幅に減少したため、10,252百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。利益面については、販売費及び一般管理費の削減はありましたが、売上総利益の減少や投資有価証券評価損の計上等により、23百万円の四半期純損失(前年同四半期は四半期純利益38百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前第1四半期会計期間は、セグメント情報を開示していないため、前年同四半期比較の記載を省略しております。

#### (卸売部門)

鮮魚が、生キハダ、冷マグロの取扱数量の増加による売上増はありましたが、メジの不漁、スルメイカの小型化、ヒラメなど養殖魚の入荷量減少などにより売上減となり、冷凍魚が、冷凍エビなど原料販売の不振や業務用の販売の低迷により売上減となり、塩干魚が、チリメンの不漁、醤油イクラの単価安、純煉製品の消費不振などにより売上減となり、売上高は9,716百万円、営業利益は112百万円となりました。

#### (飼料工場部門)

水産向魚粉が取扱数量の増加、養鰻用飼料が韓国向輸出の増加で売上増となりましたが、養魚用飼料が需要減で大幅な減少となり、売上高は298百万円、営業利益は22百万円となりました。

#### (食品加工部門)

売上高は、切イカなどの佃煮原料販売が需要減で減少し107百万円となり、少量小口化などによる資材経費増などがあり、営業損失は16百万円となりました。

#### (冷蔵工場部門)

売上高は、保税貨物の増加などにより101百万円となりましたが、固定資産の買替等により減価償却費が増加したため、営業損失は1百万円となりました。

#### (不動産賃貸部門)

売上高は、29百万円、営業利益は14百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,976百万円となり、前事業年度末に比べ185百万円(1.3%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少286百万円、受取手形及び売掛金の減少128百万円などがありましたが、商品及び製品の増加324百万円、有価証券の増加300百万円などによるものであります。

負債は、2,704百万円となり、前事業年度末に比べ317百万円(13.3%)増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加304百万円などによるものであります。

純資産は、12,272百万円となり、前事業年度末に比べ132百万円(1.1%)減少しました。これは主に、利益剰余金の減少97百万円などによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物は、投資活動の結果、有形固定資産の取得による支出等により44百万円、財務活動の結果、配当金の支払等により74百万円それぞれ減少となりましたが、営業活動の結果、仕入債務の増加等により132百万円増加となったため、前事業年度末に比べ13百万円(0.2%)増加し、当第1四半期会計期間末には6,468百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成22年5月13日発表の業績予想は変更しておりません。なお、保有株式の評価損は、期末・四半期末の株価の動向によるため、業績予想には織込んでおりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しているため、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しています。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第1四半期会計期間の損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,128,387	4,415,260
受取手形及び売掛金	2,013,586	2,142,545
有価証券	2,400,000	2,100,000
商品及び製品	719,353	394,373
仕掛品	30,162	17,797
原材料及び貯蔵品	345,102	253,627
その他	160,171	129,362
貸倒引当金	△11,484	△12,217
流動資産合計	9,785,279	9,440,749
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,618,361	1,647,647
その他(純額)	851,741	859,793
有形固定資産合計	2,470,103	2,507,441
無形固定資産		
投資その他の資産	128,645	136,500
投資有価証券	1,839,942	1,958,445
その他	779,700	792,356
貸倒引当金	△26,673	△44,022
投資その他の資産合計	2,592,970	2,706,780
固定資産合計	5,191,719	5,350,722
資産合計	14,976,998	14,791,471
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,421,228	1,116,386
受託販売未払金	108,706	127,257
未払法人税等	4,073	10,060
賞与引当金	22,000	67,200
役員賞与引当金	11,300	11,300
その他	450,468	388,612
流動負債合計	2,017,776	1,720,816
固定負債		
退職給付引当金	532,485	532,037
その他	154,148	133,801
固定負債合計	686,633	665,838
負債合計	2,704,410	2,386,655

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	11,218,490	11,316,172
自己株式	△1,287,420	△1,287,195
株主資本合計	12,723,667	12,821,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△451,079	△416,758
評価・換算差額等合計	△451,079	△416,758
純資産合計	12,272,588	12,404,815
負債純資産合計	14,976,998	14,791,471

## (2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	10,802,372	10,252,425
売上原価	10,273,793	9,753,376
売上総利益	528,578	499,048
販売費及び一般管理費	526,573	520,193
営業利益又は営業損失(△)	2,005	△21,145
営業外収益		
受取利息	5,840	4,106
受取配当金	31,910	34,881
その他	14,547	15,390
営業外収益合計	52,298	54,378
営業外費用		
自己株式取得費用	35	—
営業外費用合計	35	—
経常利益	54,269	33,233
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,891
特別利益合計	—	1,891
特別損失		
固定資産処分損	43	30
投資有価証券評価損	—	85,067
特別損失合計	43	85,097
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	54,225	△49,972
法人税、住民税及び事業税	1,049	1,049
法人税等調整額	14,840	△27,755
法人税等合計	15,889	△26,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,336	△23,266



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	54,225	△49,972
減価償却費	44,983	50,952
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,475	△18,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,200	△45,200
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,204	447
受取利息及び受取配当金	△37,751	△38,987
投資有価証券評価損益(△は益)	—	85,067
売上債権の増減額(△は増加)	5,042	146,351
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,400	△428,820
仕入債務の増減額(△は減少)	141,309	286,290
未払金の増減額(△は減少)	100,261	95,134
未払費用の増減額(△は減少)	△3,316	△2,983
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,354	△5,818
その他	10,980	23,754
小計	171,808	98,132
利息及び配当金の受取額	39,650	38,292
法人税等の支払額	△4,169	△4,196
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>207,290</b>	<b>132,229</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,500	△20,000
定期預金の払戻による収入	19,500	20,000
有形固定資産の取得による支出	△9,004	△34,086
投資有価証券の取得による支出	△27,213	△885
その他	△3,247	△9,434
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△40,465</b>	<b>△44,407</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△4,189	△224
配当金の支払額	△74,480	△74,443
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△78,670</b>	<b>△74,667</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	88,154	13,154
現金及び現金同等物の期首残高	6,363,314	6,455,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,451,468	6,468,260

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものとあります。

当社は、水産物卸売業を主要事業とし、附帯事業として、飼料製造販売業、食品加工販売業、冷蔵倉庫業及び不動産賃貸業を営んでおります。

従って、当社は、主要事業を行う卸売部門、附帯事業を行う飼料工場部門、食品加工場部門、冷蔵工場部門及び不動産賃貸部門を報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,716,210	298,575	107,204	101,116	29,318	10,252,425	—	10,252,425
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,740	—	3,186	23,228	—	31,154	△31,154	—
計	9,720,950	298,575	110,390	124,345	29,318	10,283,580	△31,154	10,252,425
セグメント利益 又は損失(△)	112,677	22,403	△16,861	△1,016	14,182	131,385	△152,531	△21,145

(注) 1 セグメント利益の調整額△152,531千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。